

令和 7 年度

茨城大学大学院教育学研究科

教育実践高度化専攻

養護科学コース

論述試験問題

注意事項

1. 解答用紙の所定欄に必要事項を記入すること。
2. 解答はすべて解答用紙に行うこと。
3. 解答時間は 100 分である。
4. 解答用紙は 2 枚である。

問1 公益財団法人日本学校保健会より発行されている『学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》』(以下、ガイドライン)に記載されている内容について、次の問いに答えなさい。

1. ガイドラインでは、「アレルギー疾患に対する取組のポイント」が3点述べられている。そのポイント3点を記載し、それぞれのポイントの意図について説明しなさい。
2. ガイドラインに記載されているアナフィラキシーの定義とアドレナリン自己注射薬エピペン[®]の使い方について、各問の空欄に適切な語句を挿入して、正しい文章として完成させなさい。

【アナフィラキシーの定義】

【エピペン[®]の使い方】

【準備】

【注射】

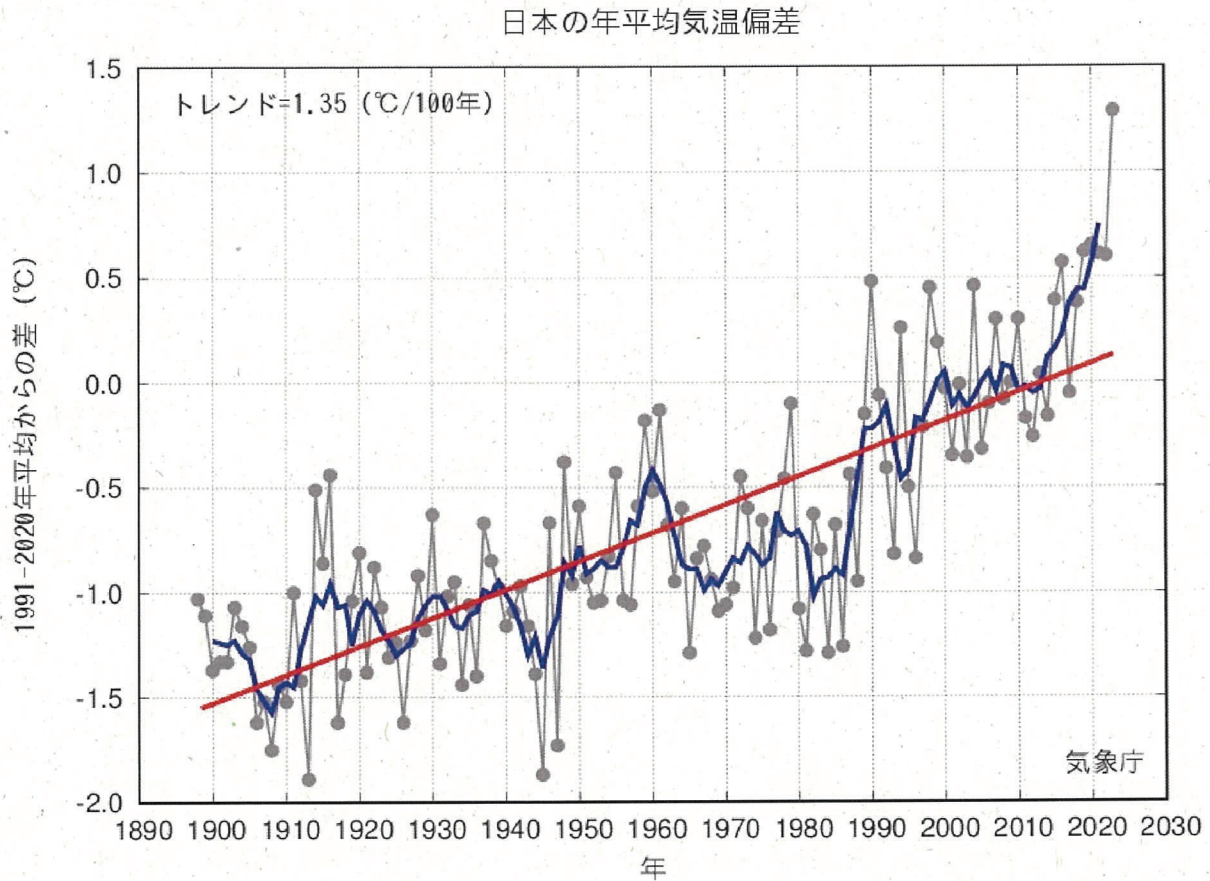
【確認】

【片付け】

問 2

1. 下のグラフは、気象庁による日本の年平均気温偏差の経年変化（1898～2023 年）を示している。基準値は 1991～2020 年の 30 年平均値である（黒細線：各年の平均気温の基準値からの偏差、青太線：偏差の 5 年移動平均値、赤直線：長期変化傾向）。

ここから読み取れることを 100 字以内で述べなさい。



2. 学校で子どもたちの出来る地球温暖化などの環境問題への具体的な取り組みについて、500 字以内で説明しなさい。